

カリキュラム構造図 (新カリキュラム)

I：看護の対象となる人の「思い」や「願い」を尊重し、対象の自己実現を支援できる力					II：専門職業人として成長し続ける能力		
1. 看護の対象となる人間を全人的に理解し、生活する人として捉えることができる。	2. 多様な価値観や様々な年代の人々とコミュニケーションをとり、人間関係を形成し、対象のニーズを捉えることができる。	3. 幅広い知識と視野を持ち、科学的根拠をもとに安全に最善の看護を提供することができる。	4. 他職種で連携・協働し、保健医療福祉チームの一員として看護を実践できる。	5. 多様な場面で生活する人の、思いや反応を尊重した看護を創造できる。	1. 内省的に自己を振り返り、課題に対し粘り強く解決に向けて行動することができる。	2. 地域や社会の医療・看護に対するニーズを把握し、看護の発展を目指して学び続けることができる。	3. 専門職業人としての責任を自覚し、倫理に基づき誠実に行動できる。

